

2016年5月20日

『ひっぽ電力株式会社』の設立



丸森町筆甫地区で住民7人が発起人となり3月11日に「ひっぽ電力株式会社」を設立した。

町から廃校となった旧筆甫中学校の校庭の一部900m²を借り受け、太陽光発電施設を設置して、ここで発電した電力を全量電力会社に売電する計画だ。

東京電力福島第一原発事故から5年が経過したのを契機に原発に依存しない地域エネルギー会社を興すことにより地域再興を目指す。

施設の200枚のパネル設置は地区住民主体で、地区外からのボランティアの協力も得て手作業で行い、9月の通電開始を予定している。

社長に就任した目黒忠七さん(64)は、「事業を通じて、より良い地域づくりを目指し、未来の子ども達へつないでいきたい」。

さらに「地域エネルギー会社として存続するために多くの方々からご協力をお願いします」と話している。



【記事提供：丸森町農業委員会】

<太陽光発電施設設置の様子>

